

令和2年度シラバス (情報)

教科	情報(社会と情報)	単位数	2単位	学年(コース)	4学年
使用教科書	最新高校社会と情報 新丁版 (実教出版)				
副教材等	パーフェクトガイド情報 (実教出版) 事例で学ぶプログラミングの基礎 (実教出版)				

1 学習目標

<p>1) 情報活用の実践力 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力</p> <p>2) 情報の科学的な理解 情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解</p> <p>3) 情報社会に参画する態度 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度</p>

2 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> 情報の収集・処理・発信などの情報活用能力を身に付ける 自ら課題を見つけ、解決していく能力を身に付ける 情報を主体的に活用し、情報社会に主体的に参加する態度を身に付ける コンピュータの特性や情報通信ネットワークの仕組みなどの基礎知識を習得する

3 学習計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。)

月	学習項目	学習内容(ねらい)	時間
4	第1編		
	第1章 情報社会		
	1. 情報社会 2. 情報とメディア 3. 情報モラルとルール	<ul style="list-style-type: none"> インターネット, デジタル化された情報, 情報化の問題について 情報の特徴, メディアの特徴を理解する 個人に関する情報の管理と保護, 情報を扱う責任とモラルを理解する 	4
5	第2章 情報機器とデジタル表現		
	1. 情報機器とデジタル 2. デジタル表現	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器の種類と特徴, ハードウェアソフトウェアの仕組みを理解する 情報機器の接続と活用を学ぶ アナログとデジタルの差の特徴を理解する 2進数と情報量 数値・文字の表現を理解する 音声の表現, 画像の表現方法をパソコン上で理解する 情報のデータ量を理解する 	6
6	第3章 表現と伝達		
	1. 表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 見やすくわかりやすい情報伝達の実現を考える レイアウトの検討や文書構造を考え, ワープロの実習を行う 	20
7	2. 表計算ソフトの利用	<ul style="list-style-type: none"> データの入力 数式の入力 相対参照と絶対参照 データの抽出 関数と引数 グラフの作成 以上について表計算ソフトを利用した実習で詳しく理解を深める。 	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	時間
8	3. プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション製作の流れ, 企画, 作成リハーサル, 実施及び評価の必要性を理解する。 ・多様なメディアの利用として, 静止画, 音声, スライド, 動画など色々なプレゼンテーションの実際をソフトを利用して実習することで理解する。 	
	第4章 コミュニケーションとネットワーク		
9	1. コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の歴史 コミュニケーションの種類 ネットワークコミュニケーションを概観する 	15
	2. ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの特性 インターネットの仕組み サービスの詳細を理解する 補足でネットの転送速度とデータ圧縮 	
10	3. 情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ技術 セキュリティポリシーの目的 セキュリティ対策の必要性を理解する 	
11	第5章 情報社会と問題解決		
	1. 情報システムと人間	<ul style="list-style-type: none"> ・社会における情報システムの具体例を学ぶ ・情報社会の課題としてサイバー犯罪やネット上の情報の利用についてそのリスクを理解する 	25
12	2. 問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の手順・手法として検索エンジンを利用する その他の方法として統計処理とグラフ化 アンケート処理 ・問題解決の実践としてポスターを作る実習 1 問題の明確化・2 情報の収集・3 情報の整理分析・4 ポスターの作成 	
1	3. 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・Web サイトの制作 HTML の基本を学び, 簡単なサイトを作る実習 ・Web サイトの評価と改善 CSS の利用 (スタイルシートの作成) 	
2			

70 時間

4 課題・提出物等

・ 単元ごとの確認テスト	・ 週末課題、長期休業中の課題	・ 実験レポート
--------------	-----------------	----------

5 評価の観点・方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
情報や情報社会に関心を持ち、身の回りの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身の回りの問題を解決するために情報に関する科学的な見方考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。

評価は、以下のものを総合的に評価します。

・定期テスト ・授業中に行う小テスト ・提出物（実験レポート・授業ノート・課題等の内容及び提出状況） ・観察・実験への取り組み ・授業への取り組み

6 担当者からの一言

<ul style="list-style-type: none"> 各学期とも上記のa、b、c、dの観点をもとに考査の成績、実習による提出物、実習にのぞむ意欲・態度・プレゼンなどを総合的に評価する。しっかりと学習して定期考査や小テストを受けること。 評価は、概ね考査の成績50%、実習（授業内小テスト・提出物・プレゼンなど）50%の配分で行う。 <p style="text-align: right;">(担当：小黒圭介)</p>
